教委だより

No.434
令和4年3月22日
編集発行　富山県教育委員会
発 行 人　教 育 企 画 課 長

探究科学科三校合同課題研究発表会

富山、富山中部、高岡高校の探究科学科による「三校合同課題研究発表会」が12月19日（日）に高岡文化ホールで開催されました。昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症対策のため、来場者を制限しての開催でした。

ステージでの代表発表「ストローの上に人が乗れるって本当ですか!？」では、実演や動画を使ったわかりやすい発表が行われ、活発に質疑応答が行われました。この他にも、先輩の研究をさらに発展させた「彩色研 Bi ～ビスマスの色、制御します。～」や、ジェンダーについて研究を深めた「家庭内改革～私たちのミライ予想図～」など多岐にわたるテーマが並び、ポスターセッションでは、それぞれの研究内容を共有しました。

ポスターセッションの様子

令和３年度とやま高校生ものづくりマイスター認定式

第６回となる、とやま高校生ものづくりマイスター認定式が2月21日（月）に実施され、25名の生徒に認定証が授与されました。この制度は、県内の高校生（工業科）を対象に、「ものづくりコンテスト」「ロボット競技大会」などの全国大会等において特に優秀な成績を収めた生徒や、高度な資格を取得した生徒をマイスターとして認定することにより、生徒の意識・意欲を喚起し、専門性の向上を図り、ものづくり人材の育成に結び付けようとするものです。認定の後、代表生徒の富山工業高校定時制4年熊本喜仁さんが「ものづくりをとおして、地域社会に貢献できるよう精進していきたい」と今後の抱負を含めた謝辞を述べました。

認定を受けた生徒の皆さん

第９回科学の甲子園ジュニア（中学生）全国大会

昨年12月3日に開催された第9回科学の甲子園ジュニア全国大会（各県での分散開催。本県は県総合教育センターで実施）に、とやま科学オリンピックの上位入賞者6名（中1、2年生）で構成された富山県代表チームが出場し、総合成績第2位、6分野のうち地学、数学、情報の3分野で第1位となりました。県代表チームは、4中学校（水橋中・庄西中・般若中・富大附属中）からなる合同チームでしたが、大会前の研修会でチームワークを着実に高め、大会本番では各メンバーがその実力を最大限に発揮して、輝かしい成績を収めました。

なお、3月に開催される第11回科学の甲子園全国大会には、とやま科学オリンピックで好成績を収めた富山中部高校が県代表として出場します。科学の甲子園ジュニアに続き、その活躍が期待されます。

Contents（主な内容）

- 探究科学科三校合同課題研究発表会 …… 1p
- とやま高校生ものづくりマイスター認定式 …… 1p
- 科学の甲子園ジュニア（中学生）全国大会 …… 1p
- 令和４年度富山県教育委員会重点施策の体系 …… 2・3p
- 健康教育実践優良学校の取組 …… 4p
- 学校給食優良学校等の取組 …… 4p
- とやま学校多忙化解消推進委員会 …… 4p
- 富山県特別支援教育将来構想の策定について …… 4p
- 令和３年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について …… 5p
- 幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を目指して …… 5p
- 総合教育センターNOW …… 6p
- 中学校・義務教育学校及び高等学校卒業者の進路状況調査結果 …… 7p
- はつらつ公民館学び支援事業 …… 7p
- インフォメーション …… 7p
  - 富山県民生涯学習カレッジ
  - とやま世界こども舞台芸術祭実行委員会
  - 放送大学富山学習センター
- 学校レポート（桜井高校） …… 8p
- リレーエッセイ（小学校教育研究会長） …… 8p

令和４年度 富山県教育委員会 重点施策の体系

❶ 学校、家庭、地域で取り組む子どもの成長支援

〔子どもの健全な育成と地域の教育力の充実〕
- ・土曜日の豊かな教育活動推進事業 (12,363)
- ・はつらつ公民館学び支援事業 (2,000)
- ・放課後子ども教室推進事業 (29,151)

〔家庭の教育力の向上〕
- ・とやま親学び推進事業 (3,365)
- 新 ほっとネッ！とやま家庭教育ナビ事業 (2,500)
- ・家庭教育総合相談事業 (5,102)

〔児童等の安全の確保〕
- ・学校安全教育推進事業 (424)

❷ 子どもの可能性を引き出し、才能や個性を伸ばす教育の推進

〔確かな学力の育成〕
- ・とやま型学力向上総合支援事業 (10,836)
- 新 令和のとやま型教育推進事業 (9,150)
- 拡 幼児教育の質の向上推進事業 (5,800)
- ・とやま科学オリンピックの開催 (8,424)

〔ＩＣＴを活用した教育の推進〕
- ・ＧＩＧＡスクール構想推進事業 (3,750)
- ・教育環境のデジタル化推進事業 (2,074)
- 新 ＧＩＧＡスクール運営支援センター整備事業［２補］ (33,349)
- 拡 ＩＣＴ教育推進事業 (77,297)

〔社会で活きる実践的な力の育成〕
- 新 とやま新時代創造プロジェクト学習推進事業 (15,500)
- 拡 とやまの高校生マイスター育成事業 (3,500)
- ・社会へ羽ばたく「17歳の挑戦」事業 (5,400)
- ・高校生職業教育プログラム推進事業 (2,000)
- 新 親子でチャレンジ小学生ワクワク体験教室の実施 (1,000)

〔グローバル社会で活躍できる人材の育成〕
- ・小学校専科教員配置事業 (43,270)
- ・英語・グローバル教育充実事業 (2,000)
- ・高等学校生徒海外派遣事業 (18,271)

〔教員の資質向上、働き方改革の推進〕
- 拡 学習支援等大学生派遣事業 (6,000)
- 新 外国人児童生徒教育推進事業 (2,400)
- 拡 「とやまで教員」応援事業 (8,600)
- 新 教員採用試験システムの整備 (19,000)
- ・スクール・サポート・スタッフ配置事業 (284,588)
- 拡 部活動指導員配置促進事業 (40,010)

❸ 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進

〔豊かな心と健やかな体の育成〕
- ・社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業 (15,046)
- 拡 スクールカウンセラー配置事業 (187,370)
- ・スクールソーシャルワーカー活用事業 (26,493)
- ・いじめ総合対策事業（24時間いじめ相談電話の設置等） (14,710)
- ・スクールロイヤー活用事業 (1,446)
- ・「朝から元気とやまっ子」食育・健康教育推進事業 (686)

〔少人数教育と校種間連携の推進〕
- 拡 少人数教育推進事業 (300,518)
- ・小学校専科教員配置事業（再掲） (43,270)

〔特別支援教育の充実〕
- 新 特別支援教育ＩＣＴ活用パイロット事業 (4,000)
- 新 特別支援教育体制整備支援事業 (2,200)

〔人権や思いやりの心を大切にする教育の推進〕
- ・人権教育総合推進事業 (1,905)
- ・いのちの教育総合支援事業 (1,311)

❹ 社会の変化と多様なニーズに対応した高校や大学等の教育環境の充実

〔県立学校の教育環境の整備・充実〕
- 拡 高等学校建設事業 (1,742,189)
- 拡 学校修繕費［２補含む］ (1,038,998)
- 拡 科学技術教育設備の充実［２補含む］ (93,623)
- ・特別支援学校建設事業 (144,000)

〔私立学校教育の振興〕
- ・私立学校経常費補助金（一般分） (2,132,018)
- 新 私立小中学校生徒奨学補助金 (2,352)
- 拡 私立専修学校特色教育振興事業費補助金 (22,000)

〔大学教育・学術研究の振興〕
- 新 県立大学ＤＸ教育研究センター運営事業費補助金 (78,700)

- ・とやま未来創生産学官連携推進会議開催事業 (760)

5 生涯を通した学びの推進

〔多様な学習活動の支援〕

・人生100年時代 生きがいづくり事業 (2,800)

〔県民の学習を支える基盤整備〕

・とやま学遊ネットの運用 (6,292)

新 県立図書館電子書籍システム整備事業 (21,000)

〔キャリアを磨く実践的な学びの推進〕

・県立大学ビジネスパーソン・スキルアップ支援事業 (4,800)

・リカレント教育等産学官連携推進事業 (2,800)

6 ふるさとを学び楽しむ環境づくり

〔学校におけるふるさと学習の推進〕

・高校生郷土史・日本史学習教材活用事業 (537)

〔家庭、地域、企業等におけるふるさと学習の振興〕

・つながる学びわくわく講座 (1,941)

・「高志の国文学」情景作品コンクールの実施 (795)

〔高志の国文学館を拠点とするふるさと文学の振興〕

新 高志の国文学館10周年記念事業の開催 (5,000)

・高志の国文学館企画展の開催 (37,256)

〔伝統文化の保存・継承〕

・国・県指定文化財保存修理事業への支援 (45,500)

・文化財建造物等活用推進事業 (13,783)

・勝興寺国宝化推進事業 (1,000)

7 次世代を担う子どもの文化活動の推進

〔子どもの様々な文化活動の充実と文化交流の推進〕

新 とやま世界こども舞台芸術祭開催支援事業 (61,199)

・次世代育成音楽ふれあい事業 (18,000)

〔学校における文化活動の充実〕

・輝くとやま未来文化リーダー育成事業 (700)

・地域部活動（文化部）推進事業 (700)

〔文化施設を活用した若い世代の芸術文化活動の振興〕

・富山県美術館企画展の開催 (144,075)

・富山県美術館の教育普及活動 (18,411)

8 スポーツに親しむ環境づくりの推進

〔県民がスポーツに親しむ環境づくり〕

・「富山マラソン2022」の開催 (89,620)

新 中部日本スキー大会開催費 (3,300)

新 富山県武道館整備事業 (20,000)

〔学校等における体育・スポーツの充実〕

拡 地域部活動（運動部）推進事業 (6,861)

新 とやまっ子ワクワク運動体験応援事業費 (17,257)

〔全国や世界の檜舞台で活躍できる選手の育成〕

新 ＩｏＴを活用したスポーツ競技力向上支援事業 (9,000)

・未来のアスリート発掘事業 (6,000)

・障害者スポーツの全国大会・国際大会出場に対する支援 (3,000)

〔スポーツを支える人材の育成と活用〕

・スポーツエキスパート派遣事業 (12,653)

〔プロスポーツや企業と連携した地域の活用化〕

・プロスポーツチームが取り組む地域活性化事業への支援 (14,110)

9 教育を通した「ふるさと富山」の創生

〔地域を支える人材の育成等〕

・土曜日の豊かな教育活動推進事業（再掲） (12,363)

・とやまの小・中学生ライフプラン教育充実事業 (1,046)

・とやまの高校生ライフプラン教育充実事業 (2,000)

・高校生職業教育プログラム推進事業（再掲） (2,000)

（令和４年度当初予算額：千円）

新はR４年度新規事業

拡は昨年度から拡充した事業

地方創生局所管事業

経営管理部所管事業

生活環境文化部所管事業

厚生部所管事業

健康教育実践優良学校の取組

令和3年度健康教育実践優良学校の総合・近視予防・歯と口の健康の3部門に8校が選ばれました。

	総合の部門	近視予防の部門	歯と口の健康の部門
優 良 校	射水市立東明小学校	入善町立上青小学校	入善町立飯野小学校
準優良校	富山市立新保小学校	砺波市立庄南小学校	砺波市立鷹栖小学校
努 力 校	魚津市立経田小学校 射水市立小杉小学校		

ここでは、優良校の取組を紹介します。

「総合の部門」（いきいき富山っ子賞）優良校「射水市立東明小学校」

コロナ禍の健康課題や衛生習慣の定着、心の健康、よい姿勢の保持を重点に、全校共通の学級指導、健康課題に合う動画の制作、校内放送等、保健教育向上に取り組みました。学校歯科医がむし歯予防とみがき方を指導する集会や、家庭で保護者がみがき残しを確認する活動等、状況に応じた活動を工夫し、総合的な健康教育の推進に多大な成果を上げています。

「近視予防の部門」優良校「入善町立上青小学校」

視力検査の結果と「元気UPカード」を基に、児童が健康な生活を営む態度を育むために、保護者と連携した活動を行いました。学校保健委員会でのメディア利用の劇や少メディア週間の取組を通して、児童が自分の生活を見直す契機としています。また、保健だよりを通して目の健康を保つための心がけについて啓発を行い、近視予防の意識向上を図っています。

「歯と口の健康の部門」優良校「入善町立飯野小学校」

学期毎に「歯みがきバッチリウィーク」を実施し、歯みがきチェックカードによる振り返りを行ったり、歯に関するクイズ大会を開催したりして、歯みがきの大切さについて呼びかけています。また、咀嚼力判定ガムを活用した測定会を開き、自分の口腔環境について知る機会をもつなど、歯や口の健康に対する関心を高める活動を工夫しています。

学校給食優良学校等の取組

令和3年度学校給食優良学校等が選ばれました。

学校給食優良学校等	富山市立山田小学校　　小矢部市立大谷小学校
学 校 給 食 功 労 者	中村　由起子（富山市立速星小学校　　学校栄養職員） 稲垣　五月　（富山県立富山総合支援学校　学校栄養職員） 礪波　美芳子（富山市立八尾中学校　　調理員）

ここでは、優良学校の取組を紹介します

学校給食優良学校等「富山市立山田小学校」

食に関する指導を特別活動や各教科、ふるさと学習と関連させながら、地域と連携・協力して計画的に実施しました。地域の農業と特産品、食材利用の学習を通して、ふるさとの農業や食に関わる人々の思いに触れ、郷土のよさや地産地消についての理解を深めています。

学校給食優良学校等「小矢部市立大谷小学校」

栄養教諭を中核とした給食指導や食に関する授業実践の他、委員会児童の創意を生かした活動により、食への関心を高め正しい食習慣の定着を図っています。また、食物アレルギーを有する児童に対して、家庭と連携した個別対応に努め、教職員の共通理解を図り、安心で安全な給食の提供となるように努めています。

とやま学校多忙化解消推進委員会

教員の働き方改革、多忙化解消に向けた方策を議論・検討する「とやま学校多忙化解消推進委員会」を開催しました。

今年度、新たに委員長に大橋　聡司氏（富山経済同友会常任幹事）、副委員長に中村真由美氏（富山大学経済学部教授）をお迎えしたほか、経済界、法曹界、PTA、校長会、市町村教育委員会、職員団体からの計15名の委員で構成し、第1回会議を10月26日（火）、第2回会議を2月22日（火）に開催したところです。

会議では各委員より、教職員の時間外勤務の状況や業務改善の取組状況のほか、今後必要な取組みとして、スクールロイヤーやスクールサポートスタッフ等の外部人材の活用や部活動の地域移行、業務のDX化によるプロセス等の変革の必要性等の具体的な意見が述べられました。

今後は、会議で議論された内容を踏まえて、教育委員会と学校が行うべき多忙化解消の取組みをとりまとめ、その取組みを具体的に実施することで、教職員の時間外勤務時間の削減を目指します。

富山県特別支援教育将来構想の策定について

有識者等からなる3回の検討会や特別支援学校の現地視察を経て、将来構想（案）のパブリックコメントを行いました。

この将来構想（案）では、今後の共生社会を築き、その中で生きていくのは子供たちであるという、子供を真ん中に置いた視点を大切にしながら、富山県における特別支援教育が目指す姿とその実現に向けた取組について整理しました。

今後、富山県総合教育会議において、将来構想を取りまとめることとしており、新年度からは、未来を担う子供たちへの特別支援教育の振興に向けた新たな取り組みを始めます。

令和３年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

スポーツ庁が発表した調査結果の概要には「体力合計点については、小・中学校の男女ともに低下」とあり、背景として「運動時間の減少」「スクリーンタイム※の増加」「肥満である児童生徒の増加」が挙げられています。

本県の体力合計点は、小・中学校の男女ともに全国平均を上回りましたが、体力合計点は小学校男女及び中学校女子で前回調査を下回り、「総合的な体力が低下している」と考えられます。

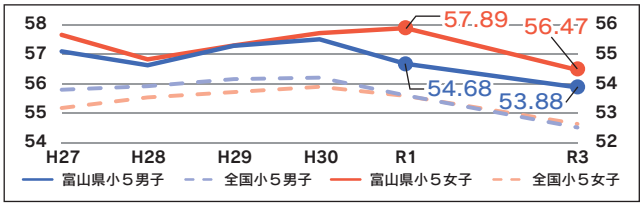
※スクリーンタイム…平日１日当たりのテレビ、スマートフォン、ゲーム機等による映像の視聴時間

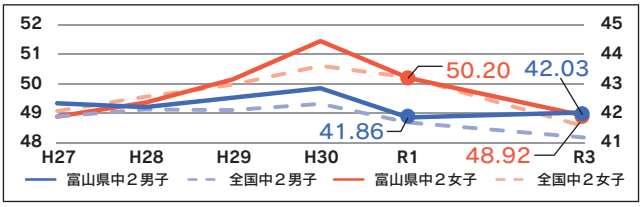
１　体力・運動能力、運動習慣等調査結果の富山県概要

〈小５・中２の調査結果：悉皆調査〉　（ 網かけ ：本県平均値が全国平均値以上の種目）

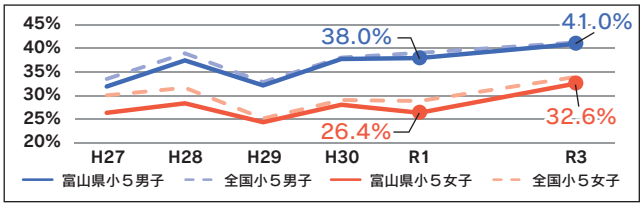
種　目　等		小学校第５学年				中学校第２学年			
		男　子		女　子		男　子		女　子	
		本県	全国	本県	全国	本県	全国	本県	全国
握力	(kg)	16.41	16.22	16.34	16.09	28.92	28.80	23.17	23.43
上体起こし	(回)	19.07	18.90	18.23	18.08	25.77	25.99	21.84	22.32
長座体前屈	(㎝)	32.76	33.48	37.27	37.90	44.73	43.67	46.08	46.20
反復横とび	(点)	43.16	40.35	41.59	38.72	51.52	51.19	46.28	46.25
持久走	(秒)					407.61	406.38	299.36	297.62
20mシャトルラン	(回)	51.53	46.83	42.05	38.15	82.72	79.88	56.67	54.24
50m走	(秒)	9.49	9.45	9.63	9.64	8.07	8.01	8.90	8.88
立ち幅とび	(㎝)	155.72	151.41	150.89	145.18	200.88	196.36	170.71	168.15
ボール投げ	(m)	21.71	20.58	14.40	13.30	20.90	20.31	13.01	12.72
体力合計点		53.88	52.52	56.47	54.64	42.03	41.18	48.92	48.56

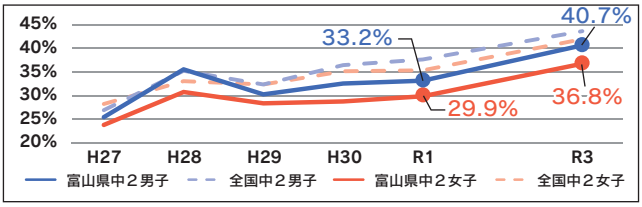
２　体力合計点（各種目の記録をそれぞれ得点化し、合計した点数の平均値）の推移





３　スクリーンタイム（平日の視聴時間が３時間以上の割合）の推移





本県の小・中学生の男女においても、スクリーンタイムは年々増加している状況が見られます。児童生徒一人一人がスクリーンタイムを含めた生活を見直すとともに、生活の中に運動の習慣を位置付けるなど、規則正しい生活習慣を作ることが重要です。

また、運動を行うことで脳の働きが活発になり、集中力が高まったり、不安な気持ちが和らいだりするという報告もありますので、児童生徒が心身ともに健康な生活を送っていくためにも、運動の効果や必要性について、児童生徒及び保護者に繰り返し伝えていくことが大切です。

幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を目指して

―幼児教育・小学校教育接続推進事業より―

子供の発達や学びは連続しており、幼児教育施設から小学校への移行を円滑にする必要があります。そのためには、互いの教育内容や指導方法の違いや共通点について理解を深め、小学校においては、幼児期に育まれた資質・能力を踏まえた指導を工夫すること、幼児教育施設においては、小学校以降の生活や学習の基盤となる幼児期の教育を充実させることが大切です。

県教育委員会では、幼児教育センターの「幼児教育・小学校教育接続推進事業」として、幼小接続モデル校区を県内6小学校区に設置しています。モデル校区では、子供同士の交流活動や教職員の合同研修会等が行われ、教職員からは、「合同研修会で、互いの教育や子供の育ちについて語り合い、指導に生かすことができた」「互いの関係性が深まり、認め合い、尊重し合うようになった」との声が聞かれました。

県教育委員会では、今後、モデル校区の取組等をHPに掲載するとともに、リーフレットを作成し、全小学校等へ配布する予定です。各学校では、モデル校区の取組を参考に、幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を図ることができるよう、連携を進めていただきたいと思います。子供たちが幼児期に身に付けた資質･能力を生かし､小学校生活を自信と意欲をもって過ごすことができるようにしていきたいものです。

総合教育センターNOW

教育研修部　中堅教諭等資質向上研修

今年度の総合教育センターでの研修は、感染症対策に配慮し、参加者が密集しないよう研修室を多く設定して、協議・演習を行ったり、主会場での講義を各研修室に配信したりして実施しました。また、受講者が各勤務校で研修を受けるオンライン研修の形態も取り入れました。

体験型研修の「社会体験研修」や「特別支援学校に学ぶ体験型研修会」では、感染症拡大防止対策のため、実施時期の変更を余儀なくされた施設・学校等がありましたが、多くの方々のご協力により、全ての研修を終了することができました。

11月24日には中堅教諭等資質向上研修「メンタルヘルス研修、リーダーとして（講演）、組織マネジメント研修、閉講式」が行われました。上越教育大学大学院　教授　稲垣応顕氏に「感情労働とメンタルヘルスの維持ーアフターコロナのストレスをふまえてー」の演題で講演をしていただきました。また、富山経済同友会教育問題委員長　（株）スカイインテック　代表取締役社長　高瀬幸忠氏に「ミドルリーダーとしての自覚（役割）」の演題で、ミドルリーダーに要求されることを、「人材育成」「選択」「伝える」「定量・定性」「反対意見」「スピード」「現場主義」「ネットワーク」について、具体的な事例を紹介しながらご指導いただきました。

これからも、状況に合わせて工夫し、多くの先生方に充実した学びの機会を提供していきます。

社会体験研修

講義「ミドルリーダーとしての自覚（役割）」

科学情報部　「教育資料室」・「カリキュラム支援室」

～教材研究・授業づくり・児童生徒支援のために活用してみませんか？～

富山県総合教育センターの３階に、「教育資料室」と「カリキュラム支援室（資料室分室）」があります。通常の図書館と違い、教育関係に特化した「資料室」・「支援室」です。

「教育資料室」には、県内各学校の「実践報告書」、教育研究のための「専門書」「教育関係雑誌」等をはじめ、各県の教育センターや大学からの紀要、各種教育団体の研究資料等をそろえています。特に、発達障害等の児童生徒を支援するための書籍・文献が充実しています。令和３年12月現在で、９万５千６百冊あまりの書籍・文献を有し、授業の実践報告書や学習指導案等もたくさん保管してあります。「教材研究」「授業づくり」に大いにご活用ください。

また、「カリキュラム支援室」は、教育資料室の分室として、「各校種の教科書」「学力向上拠点校の研究報告書」「スーパーサイエンスハイスクール関係の資料」等を展示しています。

なお、富山県総合教育センターのホームページで、「教育資料」をクリックすると、「教育資料データベース」の検索ができます。15万件あまりの書籍や文献の目録が登録されています。最新の教育雑誌も取り揃えており、閲覧や貸し出しも行っていますので、ぜひご活用ください。　（利用時間は原則として平日の８時30分～17時）

教育資料室（教育ビル３階）

http://siryo.el.tym.ed.jp/

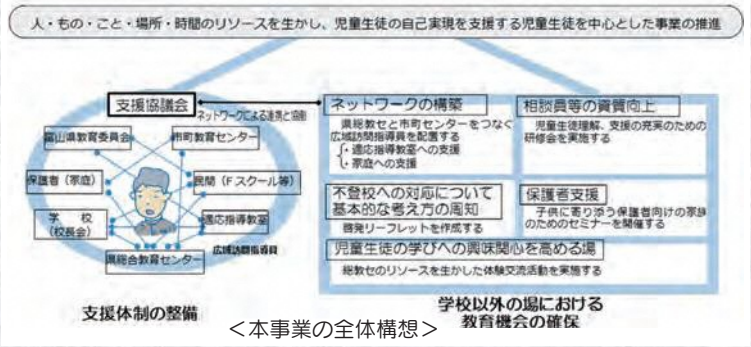
教育相談部　「不登校児童生徒に対する支援推進事業」（文部科学省補助）

この事業は、不登校児童生徒一人一人の状況に応じ、社会的自立に向けて学習等の活動に取り組むことができるよう、総合的な支援体制を構築することを目的としています。今年度は、関係機関相互の支援体制の整備や学校以外の場における多様な教育機会の確保に重点を置き、各事業を行いました。

今年度より、支援協議会にフリースクールや放課後等デイサービス事業所の民間施設、小中学校長会を加えて支援体制を整備するとともに、学校復帰という結果のみを目標とせず、その子を中心として何ができるかを考え、連携して支援していくことを共通理解しています。このような考え方等について、教職員向けリーフレット「不登校児童生徒への支援の在り方について」を作成、各学校や関係機関へ配付し、周知しました。また、広域訪問指導員1名を配置し、市町適応指導教室を定期的に訪問し、支援しています。

支援研修会では、民間施設、適応指導教室等の役割と機能を生かした支援の在り方について各参加者が見識を広めるとともに、それぞれの立場で児童生徒のためにできることを考えました。また、体験交流活動「プレイパーク」では、民間施設からVR、プログラミング体験コーナーが提供され、これをきっかけに関係機関相互の新たなつながりが生まれました。

今後も連携体制を一層生かして、各事業を工夫し、不登校児童生徒への支援に努めていきます。



＜本事業の全体構想＞

中学校・義務教育学校及び高等学校卒業者の進路状況調査結果 －令和3年5月1日現在－

1 中学校・義務教育学校 ＜表１＞

令和3年3月に県内の中学校（国立１校、公立75校１分校、私立１校）、義務教育学校（公立2校）を卒業した生徒は9,031人でした。高等学校等進学率は99.3%、就職率は0.1%でした。

〈表１〉 中学校・義務教育学校卒業者の進路状況

各年3月	実数（人） a 卒業者	b 高等学校等進学者	c 専修学校等進・入学者	d 就職者	e その他	f (再掲) b,cのうち就職者	割合（%） b/a 高等学校等進学率	c/a 専修学校等進・入学率	(d+f)/a 就職率
H31	9,552	9,472	4	14	62	2	99.2	0.0	0.2
R2	9,304	9,240	3	12	49	1	99.3	0.0	0.1
R3	9,031	8,969	3	8	51	－	99.3	0.0	0.1

2 高等学校 ＜表２＞

令和3年3月に県内の高等学校（公立41校2分校、私立10校）を卒業した生徒は8,720人でした。大学等進学率は54.8%、就職率は20.1%でした。

〈表２〉 高等学校卒業者の進路状況

各年3月	実数（人） a 卒業者	b 大学等進学者	c 専修学校等進学・入学者	d 就職者	左記以外の者 e 無認可の予備校・私塾等	左記以外の者 その他	左記以外の者 計	f (再掲) 左記b,cのうち就職者	割合（%） b/a 大学等進学率	c/a 専修学校等進学・入学率	(d+f)/a 就職率	(b+c+d+e)/a 進学と就職の割合
H31	9,142	4,819	1,928	1,942	294	159	453	8	52.7	21.1	21.3	98.3
R2	9,192	5,087	1,775	1,954	195	181	376	1	55.3	19.3	21.3	98.0
R3	8,720	4,775	1,829	1,751	207	158	365	5	54.8	21.0	20.1	98.2

※詳しくは、ＨＰをご覧下さい。
(https://www.pref.toyama.jp/3003/kurashi/kyouiku/gakkou/shinrojoukyou/sotugo_r03.html)

はつらつ公民館学び支援事業 ～ふるさとに学ぶ！～

県では、将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、平成20年度から公民館を拠点として、子供たちのふるさとの学びや身近な自然体験活動に取り組んでいます。これらの活動を「体験交流型」とし、公民館を拠点に、地域課題の解決に向けた「学び」のモデル的な活動を行う「地域振興型」を加え、今年度も事業を展開しています。「体験交流型」では、「稲作体験」「野菜作り体験」「三世代交流の集い」等の様々な体験活動や学習を通して、子供たちのふるさとへの愛着を育んでいます。また、「地域振興型」では、「地域の魅力発信」「災害に強いまちづくり」「地域の伝統芸能の継承」等の地域課題の解決に取り組むことで、地域を知り地域への愛着を深めると同時に、住民の学びに対する意識の高まりや新たな絆づくりにつながっています。

【地域振興型：避難所設営体験】
上市町宮川公民館

【体験交流型：さつまいも植え付け体験】
南砺市石黒地域づくり協議会

インフォメーション

所場所　内内容　対対象　募募集人数　要応募要領
締募集締切　料参加料　HPホームページ　問問い合わせ

開催案内

とやま世界こども舞台芸術祭実行委員会 問☎076－441－8635（内線123）

第４回とやま世界こども舞台芸術祭2022（PAT2022）

期日 令和４年７月30日（土）～８月３日（水）

所富山県民会館、富山県高岡文化ホール、富山市芸術文化ホール（オーバード・ホール）他

内「私たちが未来をきずく」をテーマに、演劇や音楽、舞踊などの舞台公演や子どもたちの発想力・コミュニケーション能力を育むワークショップ等が繰り広げられます。ぜひ積極的にご活用ください。

自遊塾 塾生募集

富山県民生涯学習カレッジ 問☎076－441－8401

県民カレッジ自遊塾　令和４年度塾生（受講生）募集

期日 令和４年３月２日（水）～令和４年４月８日（金）必着

問県民カレッジ本部　TEL076-441-8401

内ボランティア講師（県民教授）が企画した、ユニークで魅力的な講座からなる自遊塾の塾生（受講者）を募集します。

HPhttps://www.tkc.pref.toyama.jp/toyama/

自遊塾 塾生募集

受講生募集

放送大学富山学習センター 問☎0766－56－9230

放送大学インターネット配信公開講座

期日 令和４年４月１日（金）～令和５年３月31日（金）（予定）

内放送大学では、数理・データサイエンス・AI講座やプログラミング教育プラン等について「インターネット配信公開講座」を行っています。

HPhttps://www.ouj.ac.jp/hp/gaiyo/aoba_info.html

学校におじゃまして取材し、みなさんに各校の取組の様子をお届けします。

学校レポート

「『行学一如』の伝統的精神にもとづき、『自主・協和・創造』の達成につとめ、生徒の自立を図る」

富山県立桜井高等学校

桜井高校マスコットキャラクター▶「おこもこ」

桜井高校は、明治42年4月、富山県下新川郡立農業学校として創立され、令和元年度に創立110周年を迎えました。

現在は、普通科、土木科、生活環境科の3学科を有する総合制高校として各学科が切磋琢磨しながら、それぞれ特色ある活動を展開しています。普通科では1年次の総合的な探究の時間で、都市基盤・社会福祉・環境・商業・教育の5つのテーマに分かれ、地域を活性化するために自分たちに何ができるかを探究しています。今年度は黒部市の名所を紹介するマップを作成したり、黒部市社会福祉協議会と連携して高齢者対象LINE教室を開催したりするなど、地域に根ざした活動に取り組んでいるとのことでした。土木科では、小型車両系建設機械運転講習やアスファルト舗装実習など、土木技術者として活躍できる人材育成を目指した授業を行っています。資格取得にも力を入れており、在学中にほとんどの生徒が測量士補や2級土木施工管理技士の国家試験に合格しています。生活環境科では、「生活産業のスペシャリスト」として活躍できる人材育成を目指しており、地元飲食店や企業等と連携した取組みを行い、その成果を発信しています。

土木科の学習の様子

海外研修の様子

国際理解教育にも力を入れており、昭和62年から令和元年までで27回黒部市の姉妹都市であるアメリカジョージア州のメーコンを訪れ、日本文化の紹介等を通して交流を深めています。

桜井高校の生徒たちは「行学一如」の伝統的精神のもと、地域に根ざし学科の枠をこえ、友情を深めながらそれぞれの目標に向かって日々前進しています。

リレーエッセイ

主体的に学ぶ子供の姿を求めて

富山県小学校教育研究会長　富山市立藤ノ木小学校長　平井久美子

おいしい料理を作るためには、調味料の「さしすせそ」を上手に使うとよいと言われます。「さしすせそ」は、「砂糖、塩、酢、醤油、味噌」です。また、安全な学校をつくるためには、危機管理の「さしすせそ」を大事にするとよいと言われます。「さしすせそ」は、「最悪を想って、慎重に、素早く、誠意をもって、組織で対応する」です。

さて、主体的に学ぶ子供の姿を求めて授業観察をしていると、子供が本気になって思考しているときや夢中になってよりよいものをつくろうとしているときに、次のようなつぶやきを発する姿をよく目にします。新たな発見をしたときの「あっ、そうか」、友達の考えのよさに共感したときの「いいねえ」、自分の考えが友達の考えと同じであることに自信をもったときの「うん、それそれ」、それまでの考えでは説明がつかないことに出会ったときの「えっ、どうして？」、新たな事象や自分には思いもつかない友達の考えに心を揺さぶられたときの「おお～っ」などです。

思わず口をついて出るつぶやきは本当の心の動きの表われであるため、このようなつぶやき「あいうえお」を大切にしていくことで、授業が子供の意識の流れに沿いながらねらいに向かって深まっていくものと考えます。子供のつぶやきは「たからもの」であると思い、「たからもの」を拾うことに精を出してみませんか。

■執筆者プロフィール
富山市出身
富山市立音川小学校長、富山市立倉垣小学校長を経て令和２年度より現職
令和３年度県小教研会長

御意見・感想・学校が元気になるアイディア等お寄せ下さい。　教育長への直通メールアドレス：ml-powerup@pref.toyama.lg.jp